

株式会社 ピカソ

「女性の再チャレンジのためのワークライフバランス支援」



竹本社長

企業概要

事業開始：昭和38年（1963年）
 所在地：さいたま市南区
 事業内容：美容室
 従業員数：26人
 （男性5人、女性21人）

取組のきっかけ

- 美容師業界は、子どもを育てながら仕事をする人が多かった。今は、男性も増え、年齢も様々になっているが、もちろん就学前の子をもつスタッフもいる。腕のよい技術者には働き続けて欲しいと思っている。

取組状況

- ①休暇や短時間勤務を取得しやすい環境づくり
 - ・年次有給休暇を気兼ねなく取れるように心がけ、子どもの入学式、遠足、保護者会など、様々な行事に参加できるようにしている。また、夏休みを7月～9月の間で取れるようにすることで、無理なく交代で休みを取ることができる。
 - ・保育所に入れない等の事情がある場合、個別に話し合い、勤務時間を10時から3時までとしたり、勤務日数を週2日～3日にする等、個別に対応している。
- ②再雇用
 - ・本人の希望により結婚や出産を機に退社したスタッフに、2年くらいして多少子どもの手が離れた後、声をかけ、再雇用することもある。子どもが小さいこと等に配慮し、初めはフルタイムでなく、少しずつ日数や時間を延長するようにしている。
- ③スタッフの育成
 - ・技術の習得を本人任せにせず、先輩が後輩のスタッフに教えるようにしている。外部講師を呼んだり、外部講習の受講も奨励している。

社員の様子

離婚後、美容学校に通ってから再就職したスタッフがいる。着付けの技術を習得し、着付けの責任者になった。子どもの成人式の支度をすべて自分とするのを目標としていたが、それを達成して感激していた。

効果と課題

効果

スタッフの平均勤続年数が長く、店長クラスでは10年になる（通常的美容室は2年程度）。スタッフの技術の向上が図られている。

課題

スタッフの評価をどのように行うかが課題である（働く時間や個人別の売上だけでなく、総合的に評価することは難しい）。

ワークライフバランス推進員の登録 ▶ 有

子育て応援宣言企業の登録 ▶ 有

〈登録内容〉

- ①育児のための急な休みにも対応できる業務体制づくりを進めます。
- ②妊娠、出産、育児を理由に退職した元社員が希望すれば再雇用します。